

区分	評価指標	H27実績	H28実績	H29実績	前年度比	図書館運営全体	
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価
	資料購入費：決算数値(千円)	49,072	38,422	37,459	0.97	・個人の貸出点数が前年度より減少したが、要因は活字離れや1～2月の豪雪によるものと思われる。 ・減少要因をもう少し追求する必要があるのではと思う。 ・雪はともかく、活字離れの問題は、難しいと思っています。学校や仕事が多忙なのでしょうか。今は、活字の本を原作にしたドラマや映画が沢山あるので、そこから楽しみを持ってもらい読書に繋がってほしいと思います。 ・更なる高齢化の進展により、高齢者の図書館離れが加速するとも危惧されるので、ハンディキャップサービスの拡大などにより対応願いたいと思います。 ・数値の減少が大層だ！要因は豪雪の影響であったことは確かだと考えられる。ただその前の年度からの減少傾向については早急な原因を追究してほしい。 ・資料購入費が毎年減額になっているが市民サービスの面で危機を感じます。貸出点数も毎年減少傾向ですが活字離れだけの問題でないと思うので早急に原因を追究してほしい。入館者数の減少に歯止めがきかない現状を食い止める具体策を！ ・登録者数や入館者数は減少しているが、公益施設なので、あまり数値にこだわらずにいいのでは？良質のものを提供するという視点も大切にしてほしい。 ・こういう厳しい時代である。その中でもよく努力されていると思うが、読者の気持ちになることだけは止めて、これからも目に見る成果を上げて、状況の改善に努めてほしい。市民からの本の寄贈を募るなど工夫できる余地があると思う。 ・年々、減少傾向にある点が気になる。年代(世代)別、登録者数などを元にする事で、減少を止める対策などが考えられないか、検討してほしい。	3 大変評価する。23%
	蔵書点数(点):図書・AV	450,959	461,787	472,147	1.02		2 ある程度評価する。62%
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	1,214,240	1,153,089	1,093,896	0.95		1 評価できない。15%
	個人の登録者数(人)	44,213	41,699	40,357	0.97		
	(内新規登録者数)	5,039	4,686	4,609	0.98		
入館者数(人)	613,012	591,605	557,519	0.94			

区分	評価指標	H27実績	H28実績	H29目標	H29実績	自己評価	H30目標	評価(次年度への展開)	
ネットワークを生かした「課題解決型図書館」	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	26,441	23,879	23,000	24,525	3	24,600	自己評価	外部評価
	個人予約件数(件)	142,452	143,287	143,500	137,203	1	140,000	3 大変評価する。62%	・レファレンス件数及びビジネス支援サービスともに、前年度より多い件数となった。 ・平成27年度にスマホページを開始してから個人の予約件数が増加していたが、平成29年度に初めて減少に転じた。
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	321	205	230	287	3	230	2 ある程度評価する。23%	・レファレンス、及びビジネス支援サービスが増えたことは、市民の方にもそれを利用する習慣ができてきたということで市立図書館の方々のこれまでの努力の結果だと思う。 ・わずかずつでも実績を伸ばしていってほしい。 ・なぜ予約減なのか、しっかり分析してほしい。 ・レファレンス・ビジネス支援サービスの件数が増加していることを評価する。スマホページによる予約件数の減少は調査して要因を認識してほしい。 ・デジタルアーカイブの公開を市民に積極的にアピールしてほしい。 ・若い人たち、学生、生徒の利用時間がさらに増えるように何かアイデアが必要。何か成果のあったことの発表会とか。 ・レファレンス件数、ビジネス支援サービスの件数が増えたことは評価できる。
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」							自己評価	外部評価
郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	39,058	40,088	41,000	41,175	3	42,000	3 大変評価する。23%	・郷土資料の貸出にはある程度の波があると思うが、それにかかわらず、きちんと資料収集を続けていくことが大事である。 ・郷土・行政資料の種類や使い方が少し不明瞭だと思います。 ・貸出冊数が多いであろうから、貸出冊数にはそれほどこだわらなくてもいい。蔵書増を心がけてほしい。 ・関係各課への働きかけ強化と地域の情報収集の継続とその活用方法検討を期待したい。 ・蔵書冊数は増加に転じているが貸出冊数が減少。もっと広げてほしい。 ・郷土資料の寄贈など受け入れの方法をもっと広報する必要がある。この時代(本を持つことがステータスだった人たちが生きている今)に集めておかないとも二重と取集できないと考える。 ・今後より一層のPR及び情報収集を期待する。	
郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	8,049	7,475	8,000	6,988	1	8,000	2 ある程度評価する。62%	・郷土・行政資料の蔵書冊数は、昨年度より1,087冊の受入増となった。関係各課に働きかけるとともに、地域の情報収集を積極的に行った。	
職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	1	3	3	2	1	2	2	1 評価できない。15%	
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	20	24	20	18	1	20	20		
子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」								自己評価	外部評価
児童書の貸出冊数(冊)	236,738	232,662	233,000	230,157	1	231,000	3 大変評価する。62%	・小・中・高等学校への団体貸出冊数、子ども・親子対象事業の参加者数が増加していることは結構なことと思う。職場体験は学校の一方で様々な制限があり、日程が合わなかったのは仕方ないことだと思う。 ・読みやすい(参加しやすい)ワークショップの計画や読みきかせ講座などの積極的な職員の派遣はいいと思います。 ・貸出冊数はオンラインで見えにくい部分もあるが、学校への貸出冊数が伸びていることから、来館して本を借りている児童は増えていると思われる(希望も入っている)。	
小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	29,133	33,486	33,500	34,296	3	34,500	3 大変評価する。62%	・事業の企画運営レベルが高いことを評価する。学校生徒が職場体験をする時期は、全新潟市立の学校カリキュラムが同様であるから、ブックングがうまくいかないのではないか。学校へ年度初めから現状を伝え、自らの調整方法を考えたどうか。 ・夏休み子どもイベントを充実させ図書館のファンをつくらせたい。ビーンズルームの活用方法を知恵を出して考えてほしい。子どもインターを開く回数を増やしては？	
子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	5,119	4,522	4,500	5,069	3	5,000	5,000	2 ある程度評価する。38%	・職場体験は、できるだけ受け入れよう努力したが、学校の希望日が重なり受け入れできなかったこともあったため、受入人数が減少した。 ・学校や幼稚園、公民館等の読み聞かせ講座などに積極的に職員を派遣した。
職場体験受入人数(人)	48	38	45	34	1	30	30	1 評価できない。0%	・学校への団体貸出冊数や親子の参加者数が増えているのは、活用しやすい事業となるよう努力し広報している成果である。(学校関係者を代表して感謝します)。 ・児童書を教師や保護者にも紹介して読んでもらって、子どもたちに薦めてもらうようにする必要がある。学校でこれだけ読めようになって(本当に読書が好きになって)いる段階だから図書館からの紹介が増えないのは、どこかに問題があると思う。それを明らかにする必要がある。市小研や中教研、学校図書館協議会との連携を強化する必要がある。 ・参加につながる事業の企画・運営へのアイデアは大変な努力の積み重ねがあると思う。参加の増加につながった点は、大変評価すべきところである。本の専門家としての知識を子どもたちへしっかりと伝えて欲しい。
職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	37	25	25	33	3	30	30		
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	2	2	3	2	2	3	3		
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」								自己評価	外部評価
図書館ボランティア活動者数(延人数)	1,598	1,707	1,600	1,705	3	1,700	1,700	3 大変評価する。54%	・市民参加型のイベントは、市民の図書館への関心を掘り起こすと考えられる。 ・キャリアガイドボランティアの養成はよかったです。また何かの機会に活躍できればいいですし、こんな風に図書館に興味や関心を持つ人が増えればいいと思います。
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	47	55	50	43	1	50	50	2 ある程度評価する。46%	・ボランティアとの新たな連携形成の努力を評価する。 ・市民と年1回カンファレンスを行って下さい。ボランティア養成講座の開催を定期的にお願います。 ・ボランティアを募集、まずは具体的にどのような方を募集する必要がありますか。 ・市民ボランティアの「人財」を大切に活かし、活躍の場の提供をつくることを続けてほしい。
利用者の意見を把握する機会の設定(回) (協議会3回)	3	4	3	3	2	3	3	1 評価できない。0%	
共催・協働事業の実施件数(件) (協議会3回)	44	57	55	46	1	55	55		
効率的・効果的な運営(職員)								自己評価	外部評価
研修参加職員数(延人数)	153	240	160	281	3	280	280	3 大変評価する。77%	・図書館をめぐる状況が変化しつつあるので、司書、市役所職員の方々には、研修をしっかりと受けていただきたい。 ・常に新しい情報が出るし、求められる図書館の中でもよりスキルが求められるのだと思います。研修会の実施や参加は大事だと思います。 ・研修し自己研鑽されていることを評価する。 ・積極的に参加して下さい。 ・参加人数の増加から、研修への意欲が伝わる。 ・こういう強制をともなうことのできる内容は向上させることができるが、主体的な積極的な参加をどう促すことができるのか、そこに知恵がほしい。 ・スキルアップ研修は、継続的に取り入れるべき。人材育成研修への参加は個人一組織のプラスにつながる。

※「自己評価」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った

※「自己評価」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った